

今回は、1年生のオンラインセミナー 第9回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第9回 株式会社 キョウワ

◆機械を作る会社

機械の設計から、部品製造、機械装置の組立、完成までを一貫して対応出来る技術を持っています。

食品を包装する機械、食品を製造する機械、工場の中をロボットを使って自動化する機械、など、現代の生活に無くてはならないモノづくりを支える機械を作っています。



SDGs	取組中	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	今後の目標	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
------	-----	----------------------	--------------	-------	-------------------	-----------------

◆オンラインセミナー「関ジモト大学online」に参加した生徒の感想

- ・機械関係だけでなく、地域のお年寄りの方への出張や小学校に本を寄贈することを10年以上前から続けていることに驚いた。SDGsの3番と4番にも対応していて、社会貢献されている企業だと思った。
- ・僕が一番感心したことは、今回お話を聞かせていただいたキョウワさんが、ベトナムに進出しているということです。キョウワさんは、自動倉庫や物流関係、食品関係など、幅広い分野で独自の工夫にあった機会を開発している会社です。そんなキョウワさんは、海外進出をするにあたって、中国などのメジャーな国ではなく、ベトナムを選びました。その大きな理由は、ベトナムは中国に比べて日本の会社の進出率が低かったからだそうです。しかし、進出率が低いということは、ベトナムの人からしたら、あまり信頼をされていないということです。そのため、まず社長さんは、ベトナムにしばらく住み、地元の人々と信頼関係を築いていき、その現地の文化、風土、土

地、気候などを十分に学んだうえで、会社を立ち上げました。僕は、その地域で会社を建てるために、まずその地域を十分に知るという考え方が素晴らしいと思ったし、そのことを熱心に語る社長さんを見て、本気でベトナムという国や社員さんのことを大切に思っているんだなと実感しました。また、ベトナムの工業高校を卒業した人などをエンジニアとして日本の会社で雇用し、ベトナムに戻った時にその技術を広げてもらうなどの取り組みを行い、ベトナムの工業技術の発展にも尽力しています。

・授業員を幸せにするために仕事をしている会社だと感じた。